

平成25年7月

市子連だより 第25号

一緒にしよいゆ！子ども会

発行：米子市子ども会連合会 米子市東町 161-2 米子市教育委員会生涯学習課内

子ども会リーダー育成研修オリエンテーション

6月1日(土)、米子市児童文化センターで「平成25年度子ども会リーダー育成研修」のオリエンテーションが行われました。

開会式の後、打ち解けるためのゲームで緊張をほぐしてから、3つの班に分かれて班長を決めました。みんな初めは恥ずかしそうでしたが、ジュニアリーダーのお兄さんお姉さんたちがサポートしてくれたので、大山青年の家での活動について活発に意見をだしあいました。そのあと、イラストシートを使って、活動中の危険を避ける力を身につける「危険予知トレーニング」をまなびました。

この1年間の研修を通して、23名の仲間がいろいろな体験を積んでいき、子ども会のリーダーとしての力をつけてほしいとねがいます。



リーダー育成研修「夏の自然体験打合せ」

6月22日(土)に大山青年の家で「夏の自然体験」の打合せを行いました。19名の子どもたちは、米子ジュニアリーダーズクラブの皆さんと一緒に、7月の自然体験合宿の活動について意見を出し合いました。

青年の家の指導員さんからは、赤松の池でカヌーの漕ぎ方を教えてもらいました。みんな真剣に練習したので、本番の合宿ではきつとうまく池に漕ぎだせると思います。



ジュニアリーダーさんと
一緒に話し合い、合宿で
の役割を決めました。



パドリングは難しいな！



赤松の池から青年の家まで歩きました。みんなで話しながら歩いて楽しかったです。



ブロック別研修会

4月26日(金)の中央ブロック研修会では、美田顧問ご自身の子ども会活動について、失敗談等を交えて面白おかしく話されながら、「子どもたちが自分たちの力で子ども会活動を行う」ことの重要性を教えてくださいました。また、この研修会ではいろいろな団体が周りから子ども会活動をサポートしていることを知り、初めての研修会でしたがとても参考になりました。



平成25年度米子市子ども会連合会前期育成者研修

6月30日(日)明道公民館にて、講師に県立大山青年の家の原田雅文所長をお迎えし、各地区から63名の参加で開催しました。講演では「今、育成者として何をすべきか」をテーマに、子ども会活動を通して子どもに身に着けさせる大切なことをたくさんの具体的な事例をもとにお話しくださいました。なかでも、子どもがコミュニケーション能力を習得する上で、子ども会での話し合い活動がとても重要であることを強調されました。

次に、講演の中でご提示いただいた「育成者にとっての課題」について各班に分かれて話し合いを行いました。自分たちの子ども会活動を見つめなおせてよかったといったもの、ラジオ体操を通じた地域の高齢者との関わり、ジュニアリーダーを交えての子どもによる行事計画の話し合いなど活発に発表が行われました。

参加された皆さんは、明日からでも取り組みそうなこと、みんなで一緒に取り組みそうなことを持ち帰られたのではないのでしょうか。



よなご しょうかい 米子ジュニアリーダーズクラブの紹介

僕たち米子ジュニアリーダーズクラブ(以下、JLC)は、「子どもの手による子ども会」を自指して、活動しているボランティア団体です。中1から高3まで、合計27人が在籍しています。

活動内容は、主に子ども会のお手伝いです。例えば、「お楽しみ会があるので楽しいゲームをお願いします。」という依頼もあります。

JLCのメンバーは、研修等でレクリエーションやそのやり方を学んでいますので、子どもたちを楽しませる自信があります！ また、依頼によっては、子どもたちにレクリエーションを教えたり、お楽しみ会の企画を考えるとところからサポートすることもあります。企画を考えるときは、ジュニアリーダーが案を出すのではなく、子どもたちからの意見が出るような話し合いにします。そのため、行事が終わった後、達成感が生まれ



てくるのだと思います。この説明を見て、少しでも気になった方はJLCを呼んでください。僕たちのスキルアップにもつながりますし、満足してもらえる自信もあります！！

ご質問等ありましたら、米子市子連事務局(生涯学習課内 電話0859-23-5439)にお尋ねください。